

令和4年10月に開催予定であった（仮称）ちゅうぶ認定こども園設置連絡会に代えて、第2回認定こども園設置連絡会や令和5年度幼稚園入園募集説明会で説明した内容を中心に、改めて各園所の保護者様に個別説明を行いました。その際に、保護者の皆様からいただいた主なご質問・ご意見や市からの回答についてお知らせいたします。説明資料は下記のQRコードからご覧ください。

- ◇令和5年度幼稚園入園募集説明会（令和4年9月1日・2日）
- ◇かやの幼稚園保護者代表への説明（令和4年10月19日）
- ◇なか幼稚園保護者代表への説明（令和4年11月7日）



- ◇萱野保育所保護者説明会（令和4年11月3日）



人員体制について

質問・ご意見	回答
<p>今萱野保育所やかやの幼稚園にいる先生を「一定数配置できるよう配慮します。」とあるが、現時点で目安となる「一定数」の数値はあるのか。</p>	<p>人事異動もあるため、現時点で具体的なことはお答えできないが、子どもたちが安心して過ごせるよう、職員の配置を考えていく。</p>
<p>クラス人数に対する先生の配置人数が保育所より減ることはないか。支援児さんがいるクラスへの手厚い人員配置や、新しい環境での怪我等が予想されるため、こども園開始時には見守りをする応援の先生の配置など、手厚い人事配置を希望する。</p>	<p>クラス人数に対する職員配置や支援保育・教育の職員配置はこれまでと変わりなく配置する。新しい環境になるため、怪我をしそうだと予測できるところは事前に対策し、いつもより手厚く見守りをする必要があると考えている。</p>
<p>保育所から幼稚園に過ごす場所が変わることで、子どもたちもある程度ストレスを感じるのではないかと。担任については、可能な限り前年度の担任を入れていただきたい。よく知っている先生がいることで、子どもたちの不安軽減につながると思う。</p>	<p>全担任の持ち上がりは人事異動もあるので確約できない。持ち上がりが少ないことはデメリットばかりではないと考えている。園内に知っている先生がいる環境の中で、色々な大人と出会うチャンスにもなり、担任だけでなく信頼できる大人が増えていくことは大切だと考える。担任が替わることで戸惑いも大きく見えるかもしれないが、大きく子どもの成長を捉えたときには、子どもの学びにつながると思っている。</p>
<p>クラスは幼稚園コースと保育園コースが混在するが、先生が持つ資格でできる業務が異なるのか。</p>	<p>箕面市では幼稚園免許と保育士資格の両方をもった人を募集、採用しており、両方持っている職員が大半である。どちらか一方しか取得していない一部の職員には両方の免許取得を勧めている。</p>

保育・教育内容について

質問・ご意見	回答
<p>幼稚園コースの子どもたちは先に降園したり、長期休業中は基本登園しないことについて、保育園コースの子どもたちが戸惑わないかという質問に対して、他市の認定こども園や箕面市の民間こども園での事例では、子どもたちには「戸惑いが無い」ということだが、認定こども園になることで場所や色々なことが変わることを、保育の中でも先生たちから子どもたちに説明してほしい。</p>	<p>実際の保育の中でも、保育士から子どもたちへ話をしていきたいと考えている。かやの幼稚園を実際に見て、体験することが大事だと考えている。2歳児は年度当初での散歩は難しいため、令和6年3月にはかやの幼稚園に行ってみるようになりたい。現在も主に5歳児の子どもたちはかやの幼稚園、萱野小学校と交流しており、それらもきっかけにしなから、子どもたちにわかるように、こども園移行について伝えていく。</p>
<p>こども園に移行する前の3月に、2歳児クラス以上の子どもたちが幼稚園側に行くなどは考えているか。または土曜日や日曜日などに親と一緒に幼稚園の園舎を見学して、子どもに心づもりさせることなども検討してもらえないか。こども園移行後、毎年2歳児クラスの子たちが3月に幼稚園側の園舎に慣れる機会などを設けることなどを考えてもらえないか。</p>	<p>土曜日・日曜日の見学については、この場での回答は控えさせていただくが、事前に子どもが幼稚園の環境を知れるように配慮し、安心した環境で通園させたいという保護者のお気持ちは理解できるので、検討させていただきたい。</p>
<p>支援が必要な子どもが引き続き在籍しやすい状態になるのか。萱野保育所はインクルーシブ保育を行う保育所であると認識しており、その良さがこども園になっても引き継がれるのか。</p>	<p>公立幼稚園も保育所同様にインクルーシブの取り組みを行っており、認定こども園になっても引き続き支援保育・教育を行っていく。なお、かやの幼稚園はエレベーターがあるため、車椅子が必要なお子様がエレベーターを利用いただくことができる。</p>
<p>支援児さんの枠は、例えば4歳児60名の定員とは別の枠があるのか。</p>	<p>子ども一人あたりに必要な面積基準が法律で決まっており、定員はその面積基準や現在の在園児数をもとに設定しているため、別の枠ではなく4歳児であれば60名の中で調整することになる。</p>
<p>小学校と園庭の境がない点について、怪我や迷子になるリスクについてどのような対策を講じるのか。</p>	<p>今の萱野保育所の園庭のようにプランターを配置するような視覚的支援による工夫をしていきたい。また、子どもたちと園庭の使い方に関する約束事をする支援も行いつつ、危険性に関する点検を行い、確認しながら安全対策を実施していく。</p>

質問・ご意見	回答
<p>保育園コースと幼稚園コースで別のプログラムを行うのか。またそのプログラムには保護者の意見が反映できるものなのか。保育園コースと幼稚園コースのカリキュラムに違いがあれば、子どもが戸惑うと思うが、円滑に行う方法を検討しているのか。</p> <p>教育方針をどうするのか。大幅に変わるのか。</p>	<p>カリキュラムは保育園コースも幼稚園コースも同じものである。平成30年に国の保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が全て同時に改訂された。一番の改訂ポイントは、幼稚園・保育所・認定こども園の施設類型に関わらず、3歳児以上の幼児教育について保育が共通化されたことである。保育所や認定こども園では0・1・2歳児の保育や保育時間の違いに配慮することは必要であるが、保育所・幼稚園・認定こども園で同じ保育・教育が受けられるよう計画を立てる必要がある。国の指針や箕面市として今まで大切にしてきたことを踏まえて就学前の共通カリキュラムを保育所と幼稚園で共同作成しているところ。</p>
<p>教育時間が9時から14時ということだが、決定か。近隣市も概ね同じだが、足並みを揃える必要はないのではないのか。</p>	<p>教育時間は所定の手続きが終えた後決定するが、9時から14時の方向で進めている。時間設定については、近隣市の状況も参考にしながら、法律上必要な教育時間を確保し、また、午前保育としていた水曜日も14時まで延長したことで、トータルで今までより教育時間が増えることになる。現在水曜日が午前保育のため、午後に習い事を入れているかたもいると聞いているが、ご理解いただきたい。</p>

駐車場について

質問・ご意見	回答
<p>現在の萱野保育所の送迎時間帯の駐車場利用状況からすると、かやの幼稚園側の駐車スペースが3～4台では足りないのではないのか。増設してほしい。</p> <p>車の順番待ちができる場所はあるのか。ないのであれば、満車のときどうしたらいいのか。</p>	<p>敷地の物理的なスペースの関係上、駐車スペースのさらなる増設や、順番待ちのスペースの確保は難しい状況がある。</p> <p>車送迎は真に必要なかたのみとさせていただくとともに、駐車時間を短くするため、現行のように保護者が保育室まで入っての送迎をしなくてすむように、かやの幼稚園側では、玄関内でのお子様の受け入れ・送り出しなど工夫しながら対応していきたいと考えている。</p>

質問・ご意見	回答
かやの幼稚園施設側の駐車場はどこに設置を考えているのか。	駐車場は園北側の道路沿いの敷地内に増設を検討しており、止め方は現在の萱野保育所の北側駐車場と同じ方法になる。(道路に対して直角)
萱野小学校の駐車場を一部利用できないか。	利用時間が小学校側と一部重複するため難しいのではないかと考えており、現時点でさらなる駐車スペースの増設は確約できないが、小学校が利用できないかも含め、他に手法がないか検討はしていきたいと考えている。
認定こども園移行後、きょうだい関係で2カ所送迎となる家庭は、登園・降園について、現萱野保育所施設と現かやの幼稚園施設のどちらから送迎すればよいか。	登園・降園は保護者の都合が良い施設の方から先に済ませていただく運用を検討している。

認定こども園移行後のPTA・保護者会について

質問・ご意見	回答
PTAと保護者会の統合検討について、今後どう進めていくのか。	PTA・保護者会ともに任意団体のため、今後の在り方については、両団体にてご検討・ご判断いただくことになるが、市としても、円滑に検討が進むよう支援する。他市の事例や、PTA・保護者会の現活動を整理した上で、両団体が一緒に検討する場の第1回目を11月末に設定する。2回目以降は両団体で話し合いながら検討を進めていただくが、適宜、必要な情報があれば、提供していく。
PTAは他の関連団体との関係があるので、自分たちで判断できないのではないか。	関連団体との関係及び認定こども園移行後の在り方について、現在市の各担当部署に確認している。第1回目の検討会で確認結果を提供できるよう調整を進めている。

質問・ご意見	回答
園の手伝いをしているPTAの役割はどうしたらよいのか。	<p>これまで保育所も幼稚園も保護者の皆様からのたくさんのご協力をいただき、園所と保護者が連携してより良い活動と一緒に創り上げてきてくださったことは、本当にありがたいと思っている。</p> <p>認定こども園移行後も、PTAや保護者会という組織の有無にかかわらず、引き続き保護者の皆様に園の活動に参画いただいたり、連携して進めて行くということは大切にしたいと考えている。</p> <p>ただし、保護者負担の観点からも、園の活動については保護者のお手伝いありきではなく、まずは園職員で実施できることが基本であると考えている。その上で、保護者の方々にとって、無理のかかりすぎないように園にご協力いただける手法等について保護者とともに考えていきたい。</p>

幼稚園コース（1号認定）の抽選について

質問・ご意見	回答
<p>抽選の結果、「ちゅうぶ」に入園できず、せいなん幼稚園またはとよかわみなみ幼稚園へ行かざるを得なくなった園児については、制服購入の金銭的負担が発生することになる。制服の貸与措置が必要ではないか。また、距離的に通園することが難しくなることもあるので、車での送迎を許可しても良いのではないか。</p>	<p>他の保護者との公平性の観点から制服の貸与は実施しない。また、原則として、徒歩又は自転車による送迎とする。（説明後の検討状況）</p>
<p>幼稚園コースの定員を超えた応募があって抽選になる際、支援児さんは別枠の優先で入れるのか。その場合、優先地域ではない支援児さんは入園できて、優先地域の子どもは入園できないことになるのか。</p>	<p>支援が必要な園児も基本的には同じ枠内での抽選になる。ただし、例えば、エレベータによる移動支援が必要な園児など、特にかやの幼稚園施設（エレベータ設置はかやの幼稚園施設のみ）での受け入れを検討すべき場合は、優先地域の子どもよりも優先度を上げて対応する場合がある。</p>

かやの幼稚園施設の改修工事について

質問・ご意見	回答
認定こども園化に伴うかやの幼稚園施設の改修工事の内容・スケジュールは。	令和5年6月頃に業者を決め、工事等に入って行く。厨房の新設、3歳児のトイレ設置、駐車スペースの増設などを行う予定。子どもの保育室の移動が最小限で済むように、かやの幼稚園は4月から2階で保育を行う方向で検討中。安全第一に対応していく。

その他

質問・ご意見	回答
保育所では、保護者と園のやりとりの手段として「連絡ノート」があるが、認定こども園移行後、連絡ノートはどうなるのか。	現時点で決定事項としての回答はできないが、4、5歳児については基本的にクラス活動を記載した掲示物等で保護者全体へのお知らせをしていきたいと考えている。
最初に公表された「公立幼稚園は廃止」のマイナスの印象が強すぎて、そこから情報が止まっている人が多いと思う。だからこそ、もっと認定こども園に関する情報発信が必要ではないか。幼稚園のホームページにも連絡会のリンクがなく、検索でのキーワードも不足していると思う。	幼稚園のホームページへの認定こども園に関するリンクについては、別途ご指摘をいただいております、対応済み。 認定こども園の発信については、これまでの説明会に加え、市広報紙・市ホームページでの発信に努めているが、今後の認定こども園の名称公募などの機会も捉えてさらに周知していきたい。
説明会に参加していない保護者にも情報を伝えるために、説明内容や意見交換の内容はなるべく早く保護者全体に情報共有してほしい。	諸々の調整に時間がかかり、保護者全体への情報共有が遅くなっていることはお詫びする。速やかに情報共有できるよう努める。

質問・ご意見	回答
<p>認定こども園化にあたり、萱野保育所の先生から見て心配な点等あれば教えてほしい。</p>	<p>3～5歳児は環境が変わるため、新しい環境に慣れてもらえるよう、丁寧な配慮が必要と考えている。新園舎（現かやの幼稚園）に移る前の段階で、新園舎に遊びに行くなどして、ゆっくり準備をして臨みたい。</p> <p>園庭が小学校の運動場と境界無く繋がっているため、特に年齢の低い3歳児については、園庭を安全に利用できるように考える必要がある。現在の保育所園庭でも、プランターを置くことで年齢に応じたゾーン分けを行っており、何らかの配慮や約束事をするなどして対応していきたい。</p> <p>かやの幼稚園側の施設としては遊具が魅力的である。幼児がこれまで以上に遊べる環境が整っており、そういった環境のなかで成長できるのはメリットと考えている。また、舞台のある広い遊戯室もあり、いろいろな経験ができると思う。</p> <p>人数が増えることで友だちとの対人葛藤も経験しながら育つことができる。</p>

質問・ご意見	回答
<p>新アウトソーシング計画に基づいて公立幼稚園・保育所が再編され、民営化や認定こども園化が進んでいくが、これまで公立が担ってきた支援保育をどう引き継いで行くのか。以前の説明では、市に新しく「保育・幼児教育センター」を設置し、当センターを拠点として、民間園も含めた市全体の保育の質を上げていくとの話だったが、現在、どのような動きになっているか教えてほしい。</p>	<p>これまでの動きをお伝えすると、令和4年1月から2月にかけて、保育・幼児教育を専門とする3つの大学との間で包括連携協定を締結し、これまで以上に、市の保育・幼児教育に関する取り組みについてご協力をいただける体制を整備した。</p> <p>また、4月の「保育・幼児教育センター準備室」の設置を経て、10月に「保育・幼児教育センター」を開設した。</p> <p>当センターは、公立・民間や保育所・幼稚園・認定こども園といった施設種別に囚われることなく、これまで以上に公立・民間の連携を深めて、市内の就学前施設全体で保育・幼児教育の質の向上をめざすという目的のもと、そのコーディネイト役として設置されることとなった。</p> <p>センターの主な取り組みとしては、まず研修・研究の充実。公立・民間園の保育士や幼稚園教諭等を対象とした研修等の機会を従来から大幅に増やし、包括連携協定を締結している大学等から講師を派遣いただき、様々なテーマで研修を実施している。</p> <p>また、センター職員として、元公立保育所長2名を「幼児教育サポーター」として配置し、市内の就学前施設を巡回訪問している。園と一緒に子どもたちの様子を見たり、支援の方法を一緒に考えたり、相談にのったりという取り組みをしている。</p> <p>このような取り組みを軸として、支援教育・支援保育をはじめとして、公立が培ってきたノウハウを全体で共有し、一緒に学び合う取り組みを進めている。市広報紙令和4年10月号や市ホームページでもその取り組みを紹介しているため、またご覧いただきたい。</p>